

教師の参観風景



参観しながらの記入も可能です。
(こどもの具体的な姿をもとにして)

「考えを伝え合う姿」が見られたか (「分かんから教えて」「どこ?」「もう一回言って」「ここ までいい?」など)	「ともに学び合う姿」が見られたか (「そこ、わたしといっしょ」「ぼくは少しちがって..」「本当にわ かったの?」など)
・図や考え方を自分のノートに書いていたため、 考え方の共有ができなかった。 ・振り返りのスプレッドシートを開くのは終盤だけ で良かったのではないか。	「1個ずつ」「2個ずつ」「3個ずつ」...配るときを考えて (情報収集)、「かけ算になっている!」という共通性 を見出す(整理・分析)ことで、「かけ算で求められる 」というところに帰着できる。その思考の流れがあ るとよい。
「図に書いたらとりあえず分かるよ」という発言が あった。	多くの子どもたちの思考がとまっていたので、教師の 全体への介入があったために、「5の段で考えるの は」という仲間に向けての発言があった。
・「ちょっと見とってな」といい、ノートに自分の考 えを書き、説明する姿が見られた。 ・説明することが主の目標であることと、こどもた ちの理解の様子から、掛け算を使うということに ついて、最初に一斉指導があっても良かったか。	
・「かけ算はわかるけど、式がわからん。」とい うつぶやきがあったが、周囲の反応はなかった。 児童の様子を見ていると、何をすればよいか理 解していないようであった。 ・考えを伝え合うことの前に、本時で「何のため に」「何を」「どうする」が児童に「れるよう にすることが必要ではないか。(14:05頃に森 先生から説明があったが、授業開始時点で多く の児童が迷っていたので、最初にあっても良 かったのではないか。)	・「友達への考え」のスライドを参照して考える姿があ った。 ・授業の終末では、4人班で自身の考えを伝え合う 場面があった。一方で、何のために他者に説明する 必要があるのか、これまでの学習と何が違うのか理 解されないままに伝え合っていることが推察された。



Point

参観中にスプレッドシートにアウトプットすることで、参観者がリアルタイムで共有できます。

事後検討会の様子

研修会が始まる前にご記入ください。	
1人1台端末は効果的に活用されたか(各自のアイデアや、疑問に思ったこと)	自ら学び続けることの育成につながったか
スプレッドシートで学びの蓄積がされていた。図や考え方を自然に共有できる環境をつくれたよかった。操作ができると包含除との区別が明確になる。	子どもに委ねるまでに、児童はどこまで活動の見通しをもてていたか。「考えたい」と思っていたか。教師の指示中心で活動に入ってしまった。
- 単元計画を子どもたちと共有して学習の見通しをもたせる - 学習の手引き(探究の過程に沿って)の掲載	情報活用能力の育成を意識していたが、どのようにその能力をどのように活用していいかがまだ身についていないところがある。
- クラスルームの見通しを随時確認しながら、学習を進める児童 - 友だちの考えが参照できるのがよかった。しかし、参照しても考えを持てなかった児童がいたため、自ら動いて聞きにいけるようになると良い。	
- 端末活用の場面と教師を含む他者の話を聞く場面の区別が必要であると感じた。まだ不慣れな様子なので、必要に応じてルールを設けることも検討してはどうか。 - 端末活用の場面はあったが、特に導入場面は、児童が迷っている様子が見られ、本時に「何のために」、「何を」、「どうする」かをクラスルームから読み取れていなかったようであった。学級の実態から、導入時は、一斉に課題把握を行っても良いと考える。	- 何度もクラスルームやスライドを見返して、本時に何をすべきか把握しようと務める姿が見られた。 - 多くの児童が課題に取り組むまでに時間がかかった。発達段階に応じて、教師が本時のゴールを明確に示すことも必要であると考えます。



Point

- ・研修前に記入したスプレッドシートを基に、事後検討会で議論していきます。
- ・助言者の話を聴きながら、質問や気づいたことなどを随時チャットで共有します。